



# 10月 ほけんだより

社会福祉法人大和善隣館  
やざき乳児保育園  
令和3年10月号



10を横にすると、まゆと目に見えるので、10月10日は「目の愛護デー」です。子どもの目を守るには、感染症やけがだけでなく、「見え方の異常」にも注意が必要です。この機会に異常のサインを知りましょう。

## 小さな子どもは「見る力」も育ち盛り

赤ちゃんの目は、生後すぐはぼんやりとしか見えていませんが、その後、1歳までの時期は急速に「見る力」が発達します。3歳までには、多くの子どもが大人と同じ程度（視力1.0）まで見えるようになります。見る力（視覚）はゆるやかに発達し、6歳ごろには大人と同程度になります。

生まれてすぐ	1歳	3歳	5歳
視力 0.01	視力 0.2	視力 0.8～1.0	視力 1.0
明るい、暗い程度しか認識できません。	立体的に見る力、動くものを見る力など、視覚が急速に発達します。	大人とほぼ同じくらいまで視覚が育ってきます。	ほとんどの子どもが、大人と同じ視覚を身につけます。

## 早く治療するほど回復しやすい！

### こんなサインに注意

頭を傾げる	目を細める	横目で見る
片目をつぶって見る	片方の目の焦点が合わない	

見る力は、目から情報を取り入れ、脳で処理することを、毎日繰り返して育ちます。ところが、目に異常があると脳に情報が届かず、見る力が育ちません。早く治療を始めるほど回復しやすいため、見え方の異常に気づいたら、早めに眼科で相談しましょう。

### 正面から「見る様子」をチェックして

見え方のチェックにおすすめるのが、紙しばい。左右の目の焦点、ものを見る様子が詳しくわかります。



**内科健診のお知らせ**  
★10月25日（月）12：30～  
当日、お休みし受診ができなかった場合、後日、保護者の方が付き添い、校医（いのき内科・循環器科クリニック）で健診を受けてきていただきます。よろしくお願いいたします。

**【嘔吐・下痢時の登園基準について】**  
嘔吐・下痢が24時間以内に2回以上あった場合は、脱水症状等の心配があるため登園できません。よろしくお願いいたします。